

議員定数に関する市民と議会の意見交換会

Eグループ	留萌市社会福祉協議会	理事	松本修司（リーダー）
	留萌市商店街振興組合連合会	副理事長	石井久夫
	〃	〃	関口秀二
	留萌消費者協会	活動グループリーダー	行天紀恵子
	連合北海道留萌地区連合会	副事務局長	曾我部栄希
	留萌市民生児童委員連絡協議会	会長	清水廣美
	NPO法人留萌市文化会議	理事	小沼清美
担当議員	司会 村 山 ゆかり	議員	
	記録 澤 井 篤 司	議員	
	村 上 均	議員	

① 議会活動について

- ・ 初めて議会の傍聴に行き、議員が真剣に討議していたことを知った。また議会の他に委員会が数多く開かれていて、議員って忙しいんだなということがわかった。
- ・ 私は民生委員をしていて、議員とのコミュニケーションも取れているので議員の活動はある程度知っている。自分の地域（三泊・塩見）に議員がいないので、一人くらいいてくれればいい。
- ・ 人口に対して議員が多いなとは思っていましたが。しかし、先程の講義を聴いて、議員にも役割分担があって議員は一所懸命やっていることを再確認し、多い少ない、の問題ではないなと思った。市民が知らなくてはならないことがあるなと再確認しました。
- ・ 新聞を見ていると、市民に密着した色々な角度から、自分としてはそこまで気の回らない分野の質問と答弁があって、助かっている。
- ・ たまたま近所に議員がいて、議会のことを聞いている。大量の資料のことを聞いても大変だろうと思っている。定数のことはよくわからないが、（先生の話聞けば）減らせればいいという問題ではないし、仕事量とバランスを取って考えてくれればいいと思う。
- ・ 連合から3人の議員がいて、自分は役所の組合の立場として色々質問を受けたり、対応が増えてきたので重要性を痛感したところと、人口が同じところでは、士別市は留萌市より議員数は多い。統計的にも留萌市の議員数は多くはないと思っている。
- ・ 意見交換会ということで議員の皆さんにも議会活動について聞きます。
- ・ 議員：議会活動については、市民の考えていることをいかに（市政に）反映させることと思っている。
- ・ 議員：委員議会活動については、今の人口減とか、将来的な事で言えば経済・雇用面で成果の出せる政策が大事だと思っている。議員として意見を出せる立場になったので、充分に活用していきたいと思っている。
- ・ 議員：議会活動については、皆さんから様々なご意見をいただいて、それを議会のなかで審議することが議員ができる議員活動だと思っている。我々は卓上の議論ではなくて、皆

さんからいただいた様々なことを議会のなかでどう議論していくかということが議会活動の中心になると思っている。

② 議員活動について

- ・ 行政単独で政策をやったら片寄ったものになる。皆さんの身近なところに出ている議員さんが政策を審査することで、議員は行政のチェック機関として必要なもの。
- ・ 選挙で選ばれた市長と、皆さんの選挙によって付託された議員の集合体で成り立っている。議員が悪いから、議会が悪いからという声もあるが、それを言うなら選んだ皆さんが悪いということだと思う。議会力という言葉があるとするなら、選ぶ皆さんの目が優れていればすごくいい議会になるはず。
こういう場で、議員は様々な民意を聞くために集めるということがあるがおかしいと思う。民意を持って選ばれた人達が議員なんだから、そこで（議員が）決めればいいと思う。

③ 議員定数について

- ・ 議員数を減らすのは簡単。最終的にゼロになったら市民の思いはどこにぶつけるのか。委員会のことを考えても議論を成立させるためにも最低人数は必要。
- ・ 議員の皆さんは偉いなと尊敬している。自分がその立場だったら絶対にできない。こういう市民を代表して使命感持った人達がいなくなってしまうたら、議員定数どころの騒ぎじゃなくなる。10人も出なくなるかもしれない。そういう時代がくるかもしれない。市民のために頑張ろうという人がいることに、そっちのことに尊敬している。
- ・ 神原先生がおっしゃった選挙要因（立候補がいなくなる）のことになると、議会のものが運営できなくなる。そうなるとどこのマチとは言わないが、市長が独占的に、独断的なことをやっても誰も止められないということになってしまう。
- ・ 本来で言えば、市民の多様な意見を届けるためには議員数は20人でも30人でもいい。多様な意見を反映させるには議員は多い方がいいが、現実的にはそういう訳にもいかないとも理解はしている。神原先生の言ったように議員報酬の額から見ても多額ではないので、そんなに目くじら立てて減らすことはないと思う。
- ・ 昔の様な年金がなくなったので、定数削減しても額的には微々たるものだと思う。
- ・ 議員：今はもう少し高いです。
- ・ そうですね。戻りましたからね。でも市職員の方一人と議員の方一人では市職員の方の方が、言葉は悪いですが費用的にはかかっていますからね。
- ・ うちの奥さんと2人で店をやっている。たとえばもし、奥さんが議員になったとしたら、何年かして戻ったら、もう店はずぶれているからね（笑）。
- ・ 皆さんの話を聞いて共通している部分がある。議員の仕事ってもっと楽なんだと思っていた」というイメージが変わった人っていますか。
- ・ この資料を見て、議会と委員会の出席日数見たら、すごい日数でしょ。今まで議会の日数しか見ていなかったから、改めて驚いた。

- 今、議員は16人いて、議長と副議長は公務がいっぱいだから、除いて14人。そのなかで政策を考える委員会が2つ、その他に広報委員会、議会運営委員会、そのほかに特別委員会がいくつもある。とんでもない量になる（笑）。
- そのほかに委員会のための準備、それも結構な日数になる。
- 志をもって議員になれる方のなかでも1期で離れてしまう方も多いというのも現実。皆さんに定数についてもう一度問いたい。現状維持？削減？増加？
- 今の議会のことを市民の皆さんが知ってほしいと思います。今回のような講演を聞くとか。以前に議員の会議を見た時に、眠っていた議員、他のことをやっていた議員を見たことがあるんです。今日、出席表を見ても、ほとんどの方が出ていますね。そういったことも私達が知ったら知人に教えなければならない。こういったいいお話を何かの場所で、公民館とかで市民に聞いてもらえればいいと思う。
- 4年に1度の選挙で、皆さんの付託を受けて皆さんが選んだ議員さんに対しては、その後の4年間チェックしなければならないですね。そういうことを考えれば定数が多い少ないとかいうよりも、このまちを良くしようと思って自分達の代わりに市長と対峙してくれている。オール野党という必要もないが、市長提案に全て印を押すこともないでしょう。それが議員・議会ということなのでしょう。
- 自分達の代弁者ということ。
- そういうことですね。それが（市民の）皆さんは理解できていない。今日は人口面でも議員は多いと言ってくれと言われて来たのですが（笑）今日は色々聞いて、昔とは議会が全然違うので、なるほどなと思った。いい勉強ができた、いい話が聞けた。
- 今の数では少ないんじゃないかなと思いはじめました。大変そう。
- 何十年後には人口は4ケタになる。市民の中には、削減と考えている人もいます。でも今日、政策を考えていく議員活動のことを知って、これからまちを良くして欲しいと思い、私は現状維持でいいという考え方を持ちました。
- 高校卒業後の雇用の場がなくなっている。議員さんには子供達が夢を持てるまちにしてほしい。（・・聞き取れず・・）
- 高校生は意外と地元で働きたいが職がないんですよ。水産加工や介護には働きたくないといって都会に出てしまう。その代わりにベトナム人とかが100人とか入ってきている。一次産業とか観光もインバウンドとかで色々考えることが増えているのに議員が足りないような気がする。定数は現状維持でもいいが、新しいネタがどんどん増えてきているので、増やしてもいいくらい。
- 神原先生が言ったように、人口が減っても議員の仕事は何も減っていない。加えて増えていっている。そのなかで定数削減という今日の命題ですから、たいへんなことになっている。
- 久々に市長選挙がありましてね。選挙になると皆さん物事を真剣に考える。結果として切迫した結果になりましたけど。議会もそうだと思うんです。やっぱり選挙がないと。無投票というのが一番良くないと思います。そういう視点でも定数を考えなくては。少なくともダメだし、多くても。
- さっきの資料を読んで、士別市のことも勘案すれば、少なくとも16名の現状維持というのが私の意見です。
- 資料の市民アンケートの結果を見ると、現状維持は34%と少ないですね。

- ・議員：そうですね。今日来て下さっている団体の代表の皆さんは勉強もしているし、（議会を）知ろうとして下さっている方々です。先程も出た様に、議会を知らない人達では伝え聞いた話を聞いて6割が減らしたほうが良いと書いている気がします。そういうことも勘案しながら私達は議論する必要があると思います。
- ・ 16人がいても発信不足があるということですね。それではこれ以上減らして発信はできますか、ということにもなりますね。
今日は各団体の皆さんが出てきてもらいました。それでは逆に聞きますが、議員さんは我々団体のことを分かっているのでしょうか。当然予算決算にも出てきます。議員活動のなかで、そういうことも分かっているかなければならない。それが議員力です。それを知っていて（団体に）声を掛け、意見を聞きたいというならOKです。人を集めやすいから団体に声を掛けるのではだめだと思います。
- ・議員：今日、皆さんにこういう場に来ていただくことはとても大事なことで、議会のことを知っていただく場をつくることはとても大事なことだということが分かりました。
- ・ 議員基本条例は、議員の有言実行のためにつくった文章なんです。9ページに市民参加という部分があって、年に一回は政策について意見交換会やりますよと謳っています。これは（今回は）政策じゃないんだよね（笑）。
- ・議員：今回の後に政策についての意見交換会をやるかどうかは保留になっています。まずは議員定数についての意見交換をしようということになっています。
- ・ それではもう一度、定数について聞きます。現状維持、減らす、増やす、まだわからない？
- ・ 減らせないでしょ。仕事の内容が増えているのだから。
- ・ 増毛では広報のほかに議会報告みたいな冊子があります。留萌はそういうものを作っていないので。ほとんど議事録に近い感じなものです。
- ・ ただ、どうしても町のもの、市の単位では中身が変わってくるということもありますね。
- ・ 市民は知らないではなく、議員を働かせないとダメですね。
- ・議員：こういう場をもっと作らなければならないかもしれませんね。
- ・ あかしあ大学とかで話してもらえるといいかもしれません。
- ・ 発信・受信ですよ。行政でもお茶の間トークとかやっていますけど、議員もできることはありますよね。
- ・ 出前講座とか、町内とか要望があれば私達もやっているんです。
- ・ E班はおおむね肯定的な意見（現状維持）が多かったということで。こういう機会をもっと増やしていただいて、議員の皆さんから発信をしていただきたいということでまとめたいと思います。

④ まとめ

皆さんがおっしゃった通り、今日、ここに来るに当たって、もっともっと辛辣（しんらつ）な意見で、半分くらいにすれとか出てくるのかと思っていましたら、全然違いました。

まず始めに、議会についてどう思いますかという話をしてみると、実際に傍聴に行ってみると、すごくキチンとしている。委員会活動も活発にやられて、自分のイメージしていた議会と違う。今、自分の住んでいる地域に議員がいないので、もっともっと意見を吸い上げてくれる議員がほしい。ここに来るまでは「多いから減らしておいで」って言われて来ましたが、神原先生の話聞いて、また皆さんの話を聞いて、そんなことはなかったという意見も出ました。議員さんを通じて情報が入っているので、ある程度理解ができていて、減らせばいいというものではないという意見も出ました。

E班は、始めから減らすという意見はなく、発言の中には例えば士別の議員数を例に取って、決して留萌が多い訳ではない。逆にこれでいいのか、意見の中で分からないという意見は、議員が伝えきってないのではないか。今の16人の議員で伝わってないのに、減らしたらもっと伝わらないのではないかという意見も出ました。増やした方がいいという意見も出ました。

本来の議員力っていうのは民意をキチンと聞く力だと思います。そういう方々が集まって初めて一つの議会になる。

議会としてどのように捉えるかはまた別として、市民アンケートの結果は必ずしも、この中の意見と違うというのは、議会としてまたは議員の皆さんの伝える力がちょっと足りないという意見は出ておりました。

もっともっとキャッチボールをしてほしいという私の個人的意見も含め、この班の発表とします。